

提供日 2018/10/26

タイトル グランシップ伝統芸能普及プログラム「触れてみよう能楽師  
～能『羽衣』を浜松市立双葉小学校で開催します

担当 公益財団法人静岡県文化財団 事業課

連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団

記者提供資料

## グランシップ伝統芸能普及プログラム

### 触れてみよう能楽師 ～能「羽衣」～

～浜松市立双葉小学校5・6年生が、静岡県ゆかりの能「羽衣」に触れます。～

## 1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、平成23年度より「伝統芸能普及プログラム」を実施し、市町の文化施設や教育機関と連携して、能楽などの伝統芸能がもつ魅力や特徴などを多角的に紹介しています。前半は、静岡県立大学国際関係学部の学生有志が制作した能「羽衣」の絵本の読みきかせなどを通して静岡県ゆかりの能を紹介し、後半は一流の能楽師による能のお話と実演を行います。

## 2 概要

日時	平成30年11月26日(月) 10:20～14:15
会場	浜松市立双葉小学校(浜松市中区海老塚2丁目5番1号) ※午前は5・6年生各教室で授業、午後(13:15～)は体育館で山階氏によるワークショップを実施。
対象	5・6年生(65名)
内容	・静岡県立大学国際関係学部学生(羽衣つたえ隊)による絵本「羽衣」の読みきかせ、解説 ・観世流能楽師 山階彌右衛門氏による能楽についての基本的な解説 ・山階彌右衛門氏による能の実演
講師	山階彌右衛門(やましな やえもん) 観世流シテ方。観世流二十五世宗家観世左近次男。父及び二十六世観世清和に師事。2007年十二世山階彌右衛門を200年ぶりに襲名。公演はもとより、普及活動にも精力的に取り組んでいる。重要無形文化財総合指定保持者。(一社)観世会副理事長、(一財)観世文庫常務理事。
本プログラムの目的・特徴	グランシップで継続している能楽公演を単なる興行的公演で終わらせず、地域と連携したプログラムとして構成しています。また、各地で開催されているアウトリーチ事業は決まったものを様々な場所で同じように公演することが多く見られますが、本事業は各地域や機関の実情に合わせ、内容や出演者を個別に選定しています。能楽という芸術だけでなく、“能楽師”という演者・芸術家の人としての魅力にも触れることができます。 静岡県にある世界文化遺産・三保松原にゆかりのある能「羽衣」について、地域に暮らす小学生がわかりやすく学び、伝統芸能に触れる機会とします。
主催	公益財団法人静岡県文化財団、静岡県

## 3 お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者:(公財)静岡県文化財団 事業課 法月

電話 054-203-5714 FAX 054-203-5716 E-mail.info@granship.or.jp